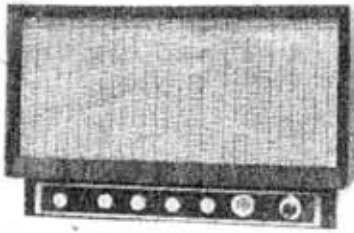


新製品紹介

「クライスラー」のキャビ・キット3種

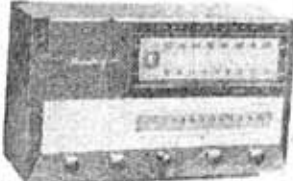


要望に応じて Hi-Fi ラジオ用キャビキットを研究、HF-1 型(上)として発売。スピーカー・ボックス (600×310×230 mm) は前面オール・サウンで音響的に考慮が払われ、アンブケースは分離しても外観を損なわない。一流メーカーの



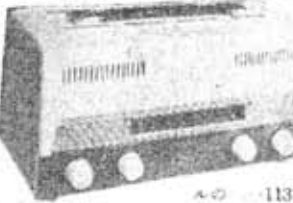
PT, CH, O PT などのいずれも取付可能。イコライザー C, 可変 IF T なども使用でき、アンブ・ケースは 4mm 銅板使用 550×180×65mm。左上は H-21 型 (560×280×215 mm), F は H-22 型 (575×285×215 mm) で、いずれも RF1 取付スーパー用 コイル・ボックスの使用も可。ジャケット。

「オンキヨー」初のオール・ウェーブ



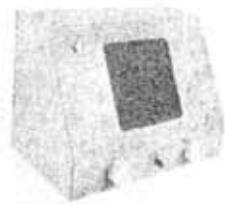
オンキヨーでは今回はじめて6球マジック・アイ付2バンド・オールウェーブ

OS-100 型を発売した。受信範囲は BC-535-1605kc, SW-3.8-12 Mc. 優れた感度分相に加えて短波帯では強調整列を附し、ご自身のノンプレス・コーン積層スピーカーで音質を誇っている。小売価格 ¥23,300。550×316×221mm。



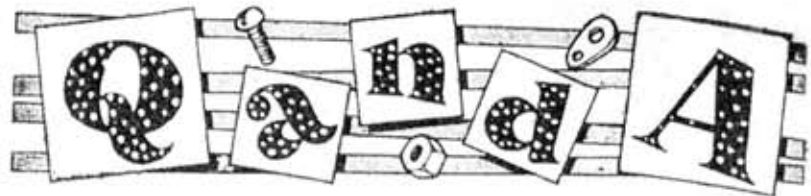
「ナショナル」ミゼット・アンプ

洗練されたスタイルの 113 型ミゼット・アンプは、全重量わずか 6.5 kg で、マイク 2 本、PU 1 本を同時演奏可能。6AR5 の PP で最大 7W。電源は AC またはコンバーター。スーパーラジオ付で、どんなスピーカーも使える。



トーカー・ベル

日本トーカー・ベルに、K (港区芝金杉 2/2) から、超小型インターホン・キットを発売。右側が、そばにある湯飲み茶碗大のものが手で、これに 2.5" P S を自置し、ボタンを押せば電話と通話ができる。



ハガキで直接解答のなかからの質疑応答のページ

オール MT 管に……

Q. 1954 年 9 月号の“目でみる製作”その 1 の回路で真空管を MT 管で 6SN7 を (6AV6×2) に 6SJ7 を (6BA6) に 50L6 を (35C5) にしようと思いますが回路はそのままよいのでしょうか、(たゞし 35C5 のヒーター・ドロップは、入れなければなりませんか。(豊島区 恩田誠八郎)

Ans. 6SN7 のかわりに 6AV6 とのことですが、6AV6 は 6SL7 のほかに近い特性なので、第 1 段目の R₁ を 100k, R_k を 2k 程度に変更するか、6SN7 相当の 12AU7 にしてはどうでしょうか。たゞし 12AU7 は高いですね。

パワー管を 35C5 または 50C5 にするのは OK です。厳密には 50L6 と少し規格がちがいます。それはヒーターだけでなく、プレートの損失も少し小さいのですが、これらのことは実際のときは無視して 6AV6-6BA6-6AV6-35C5×2 でよいとおもいます。それに整流管として 6X4 などのライン・アップにしてよろしいでしょう。

なお、35C5 はヒーター電圧が 35V ですから、当然ドロップをいれてください。

(解答 美坂一朗)

阿部久郎氏のプリアンプに……

Q. 1. 新年号 88 ページ第 23 (第 1 図) 本式のチョーク・インプットの NF 型イコライザー中、切換スイッチの各位置がどのカーブになるのか不明です。また V₂ のプレートとイコライザーの P 端子との間に直流阻止用のコンデンサーを入れなくてよいのですか。(小樽市 桑原敏郎)

Q. 2. 同じプリアンプが昨年 8 月号 85 ページにも出ていますが、定数の違う点が 6 カ所もあり、どれが正しいのかをお知らせください。

(宮城県 小山俊志)
Ans 1. スイッチのポジションは、①…LP, ②…AES, ③…NAB,

④…AM 78, ⑤…EU 78, ⑥…FFRR となります。コンデンサーは 30μF, 300V のケミコンを入れます。
2. 間違いの点申しわけありません。新年号の方を基準にして、①イコライザーの 0.01 を 0.001 に。②V₂ のカソードにバスコン (50μF, 25V) を入れる。以上が正しい回路です。(編)

チョークにしたいが……

Q. 1955 年 6 月号ページの家庭用セミ・ハイ・ファイ再生装置の平滑回路に使ってある抵抗 210Ω 3W および 5kΩ 3W をフィルター・チョークにしたいと思いますが、(第 1 図) その容量をお知らせください。

現在 5H150mA を持っていますが役立ちましょうか、チョークを用いた場合 5kΩ, 20kΩ の抵抗は現在のまよいよいでしょうか。(熊本 田浦孝雄)

Ans お手持の 5H150mA のチョークを、210Ω のかわりにいれても OK です。この場合パワー・トランス 2 次巻線の B 電圧 (AC) と、このチョークのインダクタンスだけでなく、直流抵抗によって、実際の B 電圧が違っ

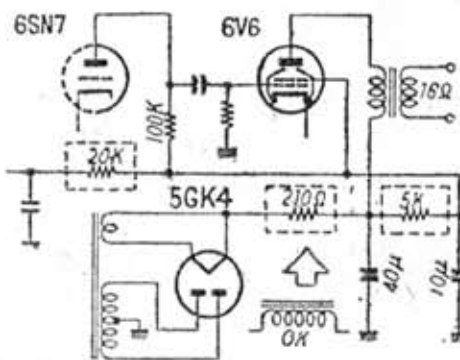
てきますが、規格表よりの若干のズレは、実際の動作にまったくさまたげはありません。

もちろんチョークにした場合抵抗インプットより平滑効果の点より有利なわけで、手持があるのなら、少し活用しまし

よう。なお 5kΩ, 20kΩ はそのままよいでしょう。(解答 美坂一朗)

2 ウェイ・スピーカーの疑問

Q. 1955 年 4 月号 41 ページ“私にも 2 ウェイ・スピーカーが作れる”(上林一行氏)の記事を参照し、私も作りたいのです。“第 1 の組合せ”程度のものでよいのですが、手持ちのスピーカーがフィールド型 VC3A, メインは 6V6 シングル、これを活用したいのです。その場合トウイターはどのような製品を使えばよいか、またそのと



(第 1 図) 本式のチョーク・インプット

きのネットワークのとり方をおしえてください。(大阪市 本田正夫)

Ans. ボイス・コイル 3Ω でも 4Ω の場合と実用上、全く同じに使用できます。したがって“第1の組み合わせ”“第2の組み合わせ”いずれもトワイター、ネットワークなどそのまま使用可能です。(解答 瀬川冬樹)

RIAAのイコライザーの定数

Q. 1955年2月号125ページのRIAAカーブの記事中、NHKで推奨している再生特性をCRイコライザーで設計するとどのような回路になりますか、具体的にお願いします。(大阪市 木下和彦)

Ans. NHKの推奨する特性というのは第2図の通りです。表と実際の回路を示しました。ただし、このカーブとRIAAカーブは、ほとんど同一ですので、もしあなたのポジションにRIAAがあるのなら、このNHKカーブをもうける必要はさらにありません。(解答 美坂一朗)

広帯域ラジオが聞えなくなった

Q. 1954年9月号18ページに発表された広帯域家庭用ラジオを製作したのですが、最近感度が非常に落ちときどき放送が聞えなくなりました。念のため、電圧を測定しましたところが6AT6のプレート電圧が105Vなければならぬのに30Vくらいしかなく、またカソードには全然電圧がありません(第3図)。その他は電圧が規定通りかまっています。念のため真空管を取りかえてみましたが、やはり同じ状態です。どうすればよいでしょうか。(北海道 黒田 武)

(北海道 黒田 武)

〈第2図〉 NHKで推奨する第1回路つきプリアンプ

〔NHKの推奨する等化表〕

| c/s | db |
|-------|-------|
| 40 | +13.7 |
| 60 | +13.2 |
| 80 | +12.4 |
| 100 | +11.7 |
| 200 | +7.0 |
| 400 | +3.5 |
| 600 | +1.5 |
| 800 | +0.6 |
| 1000 | 0.0 |
| 2000 | -2.6 |
| 4000 | -6.6 |
| 6000 | -9.6 |
| 8000 | -11.9 |
| 10000 | -13.7 |
| 12000 | -15.3 |
| 15000 | -17.2 |

Ans. 1. B電圧が規格どりののにプレート側で30Vしかないのだから、いかえると50KΩと250KΩの抵抗のなかを電流がジャンジャン流れていることになり、

2. 真空管をかえても変わらないとすると、カソードのパスコンのパンクか、または6AT6のグリッドのカップリング・コンデンサーの不良か、6AT6のプレート側にある0.01μFの付近で思わぬアース・タッチやゼツエン不良があるのではないのでしょうか。もう一度調べてください。(解答 美坂一朗)

積木細工の新回路について

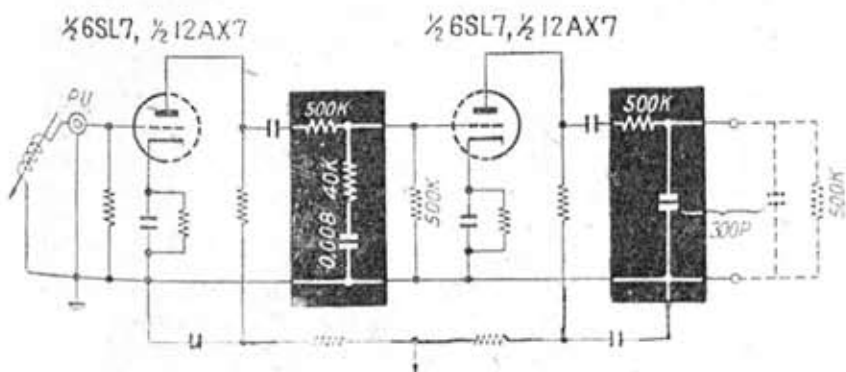
Q. 1955年5月号58ページの積木細工、新回路について質問します。12AT7がないのですが、ほかににかよい球がないでしょうか。12AX7、12AU7の手持ちがありますが、フィールド・コイルのかわりに100Ωぐら

いのチョークを入れ6X4を使用したときのトランス二次電圧を知らせてください。(山口県 田丸 稔)

Ans. 12AU7が使えます。この場合、1段目と2段目の直結部分は、R_pとR_kの値をいろいろ変えて一番よい状態にしましょう。パワー管のところは同じ定数で結構です(第4図)。

直流抵抗100Ωのチョークをフィールド・コイルの代り(この方がずっと本格的ですね)にいったときのB巻線電圧は、280V~300Vあればよいでしょう。実験用としては250V B巻線でもよいと思います。(解答 美坂一朗)

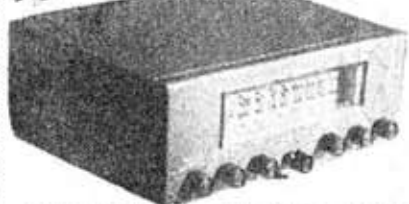
等化回路はCRかNFか?



AUG. 1955

新製品紹介

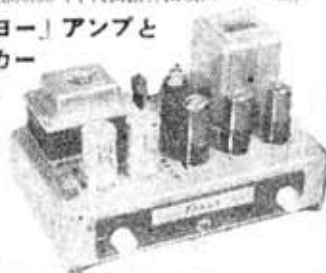
「日本サウンド」のチューナーつきアンプ



新製品 HF-T 型は、在来のプリアンプ自蔵のアンプにさらに広帯域、ゲルマニウム検波のチューナーを組みこんだもので、5種のイコライザー、高低音の調整、ワウドネス・コントロールを持つ6V6-PPで、4,8,16Ω、20~20,000c/s ±0.3~0.25db、出力は8~10W、価格は完全キット ¥20,000.00 完成品 ¥27,000.00 シューシー・キット ¥14,500.00 (千代田区神田須田町1-23)

「フクヨー」アンプとスピーカー

1MW
-5Bは6F
6-PPの
ウィリア
ムソン・
アンプ、
最大出力
6W、無
歪4W、20~30,000c/s ±0.5db、前面はダブル・プラスチックで美しい、球をのぞくオールパフ・キットと完成品がある。下はコーラル D-1600、LP再生又はトーン用の16吋本格的ウーファー、VC16Ω、25Wで再生帯域は20~4,000c/s ±4db、f₀ 35~40c/s、感度は24.2db、低音の歪をとくに少なく設計してある。(東京都北区旗野町1/131)



「ラック」Hi-Fi スピーカー

ラック C-802D は8"PM、60~15,000c/sに亘る広帯域を再生、高域指向特性は100度以内では均一という、本邦最初のW型マグネット使用、¥7,800(取扱店板橋町1-2527)



「アシダボックス」TL-8

TL-8 型は8インチ、公称入力5W、VC8Ωボイス直経1吋、f₀は50~60c/sで40~16,000c/sを±8dbで再生する、空圧箱実密度11,500ガウス、好評のトランペット・スピーカーの優れた磁気回路を使用している。(品川区大崎3-206 アシダ音響KK)

「ナショナル」10 インチ HiFiSP

好評の10F-53に、51M化して10P-53Hとして発売、LP再生用として再生帯域を広げ、巻線コイルによって有害な共振から逃がしている、マグネットはNKS-3を使用、万能OPT耐、小売価格 ¥4,600

